

2024年度（令和6年度） 町田市立南中学校 社会科(地理) 1年 年間指導計画及び評価基準

使用教科書：中学生の地理（帝国書院） 年間授業時数：55時間

月	単元・章・教材名	時数	学習目標	学習活動	評価基準
4	第1部"第1章 世界の姿 1 私たちの住む地球を眺めて "2 いろいろな国の国名と位置 "3 緯度と経度 "4 地球儀と世界地図の違い "5 章の学習を振り返ろう "第2章 日本の姿 "1 世界の中での日本の位置 "2 時差でとらえる日本の位置 "3 日本の領域とその特色 "4 都道府県と県庁所在地 "5 章の学習を振り返ろう	10	<第1部第1章のねらい> 世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解させる。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。 <第1部第2章のねらい> 日本の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解させる。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。	1 さまざまな視点から衛星写真を見て、世界や日本の姿を大観する。 2 国名や面積、形、人口、国旗などに着目し、世界の国々を大観する。(ICTの活用) 3 緯度や経度のしくみや使い方、地図帳のさくいんの引き方を理解し、活用する。 4 地球儀と世界地図の構造を調べ、その違いや特色を理解するとともに、地球儀上で距離と方位を測る方法を身につける。 5 世界の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。 1 地球儀や世界地図を活用しながら、さまざまな方法で日本の位置を示す。 2 時差のしくみを理解し、日本とおもな国々(都市)の時差による違いや配慮などを考える。 3 領域のしくみや日本の領域の特色を理解し、日本がかかえる領土問題について主体的に考える。 4 都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解する。 5 日本の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。(ICTの活用)	<第1部第1章の評価基準> ①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 <第1部第2章の評価基準> ①我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 ②日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	第2部"第1章 人々の生活と環境 "1 世界のさまざまな生活	10	<第2部第1章のねらい> 場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活	1 世界各地の市場の写真からその地域の気候の特色や人々の生活のようすを大まかに読み取る。	<第2部第1章の評価基準> ①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりするこ

	<p>と環境</p> <p>"2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～</p> <p>"3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～</p> <p>"4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～</p> <p>"5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～</p> <p>"6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～</p> <p>"7 世界各地の衣食住とその変化</p> <p>"8 人々の生活と宗教の関わり</p> <p>"9 章の学習を振り返ろう</p>		<p>動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。</p> <p>①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解させる。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解させる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解させる。</p> <p>②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</p>	<p>2 インドネシアの人々の生活のようすから、暑い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>3 アラビア半島の人々の生活のようすから、乾燥した地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>4 スペインの人々の生活のようすから、地中海性気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>5 シベリアの人々の生活のようすから、寒い地域の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>6 アンデス山脈の人々の生活のようすから、高地の気候の特色や人々の生活の特色や課題を読み取る。</p> <p>7 世界各地の衣食住の特色や変化、人々の生活との関係について理解する。</p> <p>8 世界各地の宗教と人々の生活とのかかわりについて理解する。</p> <p>9 人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。(ICTの活用)</p>	<p>とを理解している。</p> <p>①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。</p> <p>②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>9</p> <p>10</p>	<p>第2章 世界の諸地域</p> <p>"第1節 アジア州</p> <p>"1 アジア州の自然環境</p> <p>"2 アジア州の農業・文化と経済発展</p> <p>"3 経済発展を急速に遂げた中国</p> <p>"4 最も近い隣国、韓国</p> <p>"5 経済発展を目指す東南アジア</p> <p>"6 産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア</p> <p>"7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</p> <p>"8 節の学習を振り返ろう</p>	<p>8</p>	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"</p>	<p>1 アジア州を地域区分し、地形や気候を中心に、国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 アジア州の農業について、モンスーンの影響や降水量の違いに着目してその特色を理解するとともに、人口が集中する沿岸部では都市化が進んでいることを理解する。</p> <p>3 中国の急速な経済発展や生活の変化を工業化と関連付けて理解するとともに、急速な経済発展によっておこる課題について考える。</p> <p>4 文化や工業の特色、首都一極集中による地域の課題などについて理解し、日本との関わりについて考える。</p> <p>5 外国とのかかわりの中で進んできた東南アジアの工業化の実態について理解する。</p> <p>6 南アジアの文化や産業の発展について、人口増加と関連させながら理解する。</p> <p>7 西アジアや中央アジアの経済成長について資源開発と関連させながら理解する。</p> <p>8 アジア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p><この節の評価基準></p> <p>①アジア州をいくつかの地域に分けて人口増加と急激な経済発展によるさまざまな影響を整理し、地域ごとの違いをふまえながらアジア州全体の地域的特色や課題を理解している。</p> <p>②他地域との結びつきやアジア州という地域に着目し、人口増加と急激な経済発展を取り上げて、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を多面的・多角的に考察、表現させる。</p> <p>③人口増加と急激な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究し解決しようとしている。</p>

	<p>"第2節 ヨーロッパ州</p> <p>"1 ヨーロッパ州の自然環境</p> <p>"2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</p> <p>"3 EUの成り立ちとその影響</p> <p>"4 ヨーロッパの農業とEUの影響</p> <p>"5 ヨーロッパの工業とEUの影響</p> <p>"6 EUが抱える課題</p> <p>"7 節の学習を振り返ろう</p>	7	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、ヨーロッパ州で見られるEU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響を、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。"</p>	<p>1 地形や気候を中心に、ヨーロッパ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を理解する。</p> <p>3 ヨーロッパ州の国境をこえた結びつきに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを考える。</p> <p>4 ヨーロッパ州の農業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。</p> <p>5 ヨーロッパ州の工業における地域的特色とEU統合による変化や課題を考える。</p> <p>6 EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題やこれからのEUのあり方について考える。</p> <p>7 ヨーロッパ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p>"<この節の評価基準></p> <p>①ヨーロッパ州に暮らす人々の生活をもとに、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し、EU統合や文化の多様性に関わる課題が地域的特色の影響を受けて独自の様相を見せていることを理解する。</p> <p>②他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、EU統合や文化の多様性に関わる課題の要因や影響をヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意欲的に追究しようとしている。"</p>
11	<p>"第3節 アフリカ州</p> <p>"1 アフリカ州の自然環境</p> <p>"2 アフリカの歴史と文化</p> <p>"3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済</p> <p>"4 アフリカが抱える課題とその取り組み</p> <p>"5 節の学習を振り返ろう</p>	5	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきやアフリカ州という地域に着目し、モノカルチャー経済からの脱却やアフリカ州の国々の発展や支援の在り方などを取り上げて、アフリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"</p>	<p>1 赤道をはさんで南北に広がる広大な範囲を概観し、地形や気候を中心に、アフリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 アフリカの文化の特色や変化について、歴史的背景やヨーロッパとのつながりに着目しながら理解する。</p> <p>3 アフリカの産業の実態や課題について、その変化に着目しながら理解する。</p> <p>4 アフリカ各国が抱えている問題を理解し、そこからの脱却について考える。</p> <p>5 アフリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。</p>	<p>"<この節の評価基準></p> <p>①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を歴史的背景をふまえて理解しているとともに、資料からアフリカ諸国とヨーロッパ諸国との関係の深さを調べまとめている。</p> <p>②一つの国が輸出品を特定の農産物や鉱産資源にたよるようになった原因を追及し、そのような貿易形態の問題点を多面的多角的に考察し、解決に向けて選択・判断している。</p> <p>③モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心が高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</p> <p>"</p>
	<p>"第4節 北アメリカ州</p> <p>"1 北アメリカ州の自然環境</p> <p>"2 移民の歴史と多様な民族構成</p> <p>"3 大規模な農業と多様な農産物</p> <p>"4 世界をリードする工業</p>	6	<p>"<この節のねらい></p> <p>他地域との結びつきや北アメリカ州という地域に着目し、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達したことなどを取り上げて、北アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"</p>	<p>1 地形や気候を中心に、北アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。</p> <p>2 北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解する。</p> <p>3 北アメリカ州の農業の特色について、世界の食料事情と関連させながら理解する。</p> <p>4 アメリカ合衆国の工業の発展と世界への影響について理解する。</p>	<p>"<この節の評価基準></p> <p>①多様な民族が暮らすアメリカ合衆国において、広大な国土を利用して大規模な農業が行われていることや世界をリードし続けている工業の姿について理解しまとめている。</p> <p>②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活のようすをもとに、多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。</p> <p>"</p>

	"5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題 "6 節の学習を振り返ろう			5 アメリカ合衆国の人々の生活や文化の特色を理解し、世界への影響や課題を考える。 6 北アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	
12	"第5節 南アメリカ州 "1 南アメリカ州の自然環境 "2 多様な民族・文化と人々の生活 "3 大規模化する農業と成長する工業 "4 ブラジルにみる開発と環境保全 "5 節の学習を振り返ろう	5	"<この節のねらい> 他地域との結びつきや南アメリカ州という地域に着目し、農地や鉱山の開発が地域に影響したことなどを取り上げて、南アメリカ州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"	1 地形や気候を中心に、南アメリカ州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 2 南アメリカの文化の特色をその国々の歴史的背景に着目しながら理解する。 3 南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について、開発に着目しながら理解する。 4 アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について理解し、より良い地域の在り方について考える。 5 南アメリカ州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	"<この節の評価基準> ①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた歩みと、経済成長をとげた国とそうでない国とが共存する地域の姿を理解するとともに、ブラジルでは経済発展が進む一方で、経済格差などの問題が生じていることを、本文や資料から調べまとめている。近年の顕著なブラジルの経済成長の要因と、経済成長とともに環境問題が起きていることやその解決を多面的・多角的に考察している。 ③多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。"
	"第6節 オセアニア州 "1 オセアニア州の自然環境 "2 移民の歴史と多文化社会への歩み "3 他地域と結び付いて発展する産業 "4 節の学習を振り返ろう	4	"<この節のねらい> 他地域との結びつきやオセアニア州という地域に着目し、白豪主義から多文化社会への転換などを取り上げて、オセアニア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を理解し考察させる。"	1 地形や気候を中心に、オセアニア州の国々や自然などの基本的な特色を理解する。 2 オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解する。 3 オーストラリアやニュージーランドを中心としたオセアニアの産業の特色を理解する。 4 オセアニア州の基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現する。	"<この節の評価基準> ①自然環境の影響を受けながら生活するオセアニア州に暮らす人々のようすと、多文化社会の問題点を克服しながら多様な民族が共存するオーストラリアやニュージーランドの社会を理解するとともに、地図や統計資料などから、オセアニア州とアジア州との深い関係を調べまとめている。 ②オセアニア州の国々が、旧宗主国であるヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。 ③広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。"

※大半の授業で映像や資料の提示のために ICT を活用している。